

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	静岡市立静岡看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	22単位 540時間	9単位 240時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

講義要綱及び資料を作成し、学生及び関係者に配布とホームページへの掲載を行っている。 ホームページ： http://www.city.shizuoka.jp/475_000096.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	静岡市立静岡看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	静岡市立静岡看護専門学校教育課程編成会議
役割	静岡市立静岡看護専門学校に係る教育課程の編成について、看護分野に関する専門的な知見からの意見を聴取し、もって同校の看護基礎教育の水準の向上を図る。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
現職	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日	公益社団法人 静岡県看護協会理事
現職	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日	一般社団法人 日本看護学校協議会理事
現職	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日	曲金訪問看護ステーション 代表取締役所長
現職	平成31年4月1日 ～令和3年3月31日	地方独立行政法人静岡市立静岡病院 病院長補佐兼看護部長
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	静岡市立静岡看護専門学校
設置者名	静岡市

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>各講義の到達目標及び概要、講義項目、評価方法、受講生への要望、その他の事項を記載した講義要綱を担当教員が作成しており、毎年度開始時に学生及び教職員等の関係者へ配布を行い、静岡市ホームページへの掲載を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	講義要綱の配布、ホームページへの掲載 ホームページ： http://www.city.shizuoka.jp/475_000096.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評定や各授業科目の単位認定は、静岡市立看護専門学校学則において定めており、学科試験及び実習評価による成績評定の基準は、静岡市立静岡看護専門学校成績評定及び欠席等に関する内規で定めている。学則及び内規に基づき、運営会議で進級認定や卒業認定を行っている。</p> <p>また、学則及び内規は学校便覧へ掲載しており、学校便覧は静岡市ホームページへの掲載も行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

2018年度以前の入学生については、授業科目ごとの成績評価を100点で算出し、平均点を算出している。

2019年度入学生から成績評価にGPAを導入した。成績書へは、下記のとおりS～D評価にそれぞれ「4～0」ポイント(Grade Point)を付与し積算したものを既修総単位数で割って平均化した値で示している。(小数点4位以下切り捨て)

ただし、履修を中止した科目及び認定科目、並びに卒業要件対象外の自由履修科目は算出対象から除く。

点 数	評定	グレードポイント
100点 ～ 90点	S	4
90点未満 ～ 80点	A	3
80点未満 ～ 70点	B	2
70点未満 ～ 60点	C	1
60点未満	D	0
欠席又は棄権及び履修時間数不足		

(科目のグレードポイント×単位数)の和

$$GPA = \frac{\text{科目のグレードポイント} \times \text{単位数の和}}{\text{科目の単位数の和}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校便覧への記載、静岡市ホームページへの掲載 ホームページ： http://www.city.shizuoka.jp/475_000098.html
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

教育目標を下記のとおり定めている。

1. 社会人としての教養を身につけ、豊かな感性を養い、調和のとれた人格形成に努める。
2. 人間や人間生活に対する幅広い理解と倫理観に基づいた行動がとれる。
3. 看護に必要な知識・技術・態度を学び、根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。
4. 専門的思考を用いて対象に合わせた看護実践ができる能力を養う。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として他職種の役割を理解し、チーム医療を実践できる基礎的能力を養う。
6. 変動する社会のニーズに対応できる専門職業人を目指し、自ら考え学ぶ姿勢を培い、看護を探究する能力を養う。

これに基づきカリキュラム編成を行い、必修科目97単位・3000時間をすべて修得していることを卒業要件としている。また、同基準を鑑みて運営会議(卒業認定会議)に諮ることとしている。卒業の認定に関する方針については、静岡市ホームページへ掲載している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	静岡市ホームページへの掲載 ホームページ： http://www.city.shizuoka.jp/475_000097.html
------------------	--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	静岡市立静岡看護専門学校
設置者名	静岡市

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000/97 単位時間/単位	1,725 /66 単位時間 /単位	240 /8 単位時間 /単位	1,035 /23 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		118人	0人	12人	96人	108人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各講義の到達目標及び概要、講義項目、評価方法、受講生への要望、その他の事項を記載した講義要綱を担当教員が作成しており、毎年度開始時に学生及び教職員等の関係者へ配布を行い、静岡市ホームページへの掲載を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 2018年度以前の入学生については、授業科目ごとの成績評価を100点で算出し、平均点を算出している。 2019年度入学生から成績評価にGPAを導入した。成績書へは、下記のとおりS～D評価にそれぞれ「4～0」ポイント（Grade Point）を付与し積算したものを既修総単位数で割って平均化した値で示している。（小数点4位以下切り捨て） ただし、履修を中止した科目及び認定科目、並びに卒業要件対象外の自由履修科目は算出対象から除く。

点 数	評定	グレードポイント
100点 ～ 90点	S	4
90点未満 ～ 80点	A	3
80点未満 ～ 70点	B	2
70点未満 ～ 60点	C	1
60点未満	D	0
欠席又は棄権及び履修時間数不足		

$$GPA = \frac{\text{(科目のグレードポイント} \times \text{単位数)の和}}{\text{科目の単位数の和}}$$

卒業・進級の認定基準

(概要)

教育目標を下記のとおり定めている。

1. 社会人としての教養を身につけ、豊かな感性を養い、調和のとれた人格形成に努める。
2. 人間や人間生活に対する幅広い理解と倫理観に基づいた行動がとれる。
3. 看護に必要な知識・技術・態度を学び、根拠に基づいた看護実践ができる能力を養う。
4. 専門的思考を用いて対象に合わせた看護実践ができる能力を養う。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として他職種の役割を理解し、チーム医療を実践できる基礎的能力を養う。
6. 変動する社会のニーズに対応できる専門職業人を目指し、自ら考え学ぶ姿勢を培い、看護を探究する能力を養う。

これに基づきカリキュラム編成を行い、必修科目97単位・3000時間をすべて修得していることを卒業要件としている。また、同基準を鑑みて運営会議(卒業認定会議)に諮ることとしている。卒業の認定に関する方針については、静岡市ホームページへ掲載している。

進級の認定基準は、成績評定や各授業科目の単位認定について、静岡市立看護専門学校学則において定めており、学科試験及び実習評価による成績評定の基準は、静岡市立静岡看護専門学校成績評定及び欠席等に関する内規で定めている。学則及び内規に基づき、運営会議(進級認定会議)に諮っている。

学修支援等

(概要)

個人面接、保護者面接、学校カウンセリングの実施

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	3人 (6.8%)	40人 (90.9%)	1人 (2.3%)

(主な就職、業界等) 静岡市立静岡病院などの静岡県内病院
(就職指導内容) 就職説明会を学内で開催し、各病院採用担当者を招いている。
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師国家試験受験資格 保健師、助産師学校への受験資格 看護系大学編入受験資格 職業実践専門課程 専門士(医療専門課程) 称号
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
131人	6人	4.6%
(中途退学の主な理由) 健康上の問題・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学年担当教員による個人面接・履修相談、学校カウンセリングの定期的実施、保護者との情報交換、看護のこころをつなぐ式の開催		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	0 円	172,000 円	0 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.city.shizuoka.jp/000_006638_00003.html		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 静岡市立静岡看護専門学校に係る自己点検・自己評価の結果について、看護分野に関する専門的な知見からの意見を聴取するとともに、保護者の意見を把握し、教育活動および学校運営の改善を図る。評価項目は、「教育理念・教育目的」、「教育目標」、「教育課程経営」、「教授・学習・評価過程」、「経営・管理課程」、「入学」、「卒業・就業・進学」、「地域社会／国際交流」、「研究」の9つのカテゴリーに区分し、全125項目について評価を実施している。 委員定数：4人以内 委員の構成：1看護関係団体を代表する者、2生徒の保護者、3地方独立行政法人静岡市立静岡病院の職員 評価結果を受けて、自己点検自己評価委員会でその年度に取り組む改善点を明確にし、改善計画を立案、実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 静岡県看護協会理事	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	看護関係団体を代表する者
静岡市立静岡病院 副看護部長	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	地方独立行政法人静岡市立静岡病院の職員
一般社団法人 日本看護学校協議会理事	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	看護関係団体を代表する者
静岡市立静岡看護専門学校後援会会長	平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	生徒の保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.city.shizuoka.jp/000_006638_00003.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.city.shizuoka.jp/601_000016.html
--